

ベテランの域に入っ
てもなお衰えを知らず、
目覚ましい活躍を見せ
る佐賀ノ海。九日目に
でを2敗で乗り切り、
優勝戦線に残って迎え
た若剣と対戦。立会い
の踏み込まれるも、若
手のお株を奪うと、相
手を差し土俵中央から一
気に押し倒しに沈め
て守った。



佐賀海○(押し倒し)●若 剣

そして迎えた千秋楽
一敗に後退した生駒山
の一番。負ければ生
駒山の優勝、佐賀ノ海
が勝てば決定戦に突入
する。呼び出しの声に続
いて両者が土俵に上が
ると館内のボルテージ
は最高潮に達する。優
勝のかかる大一番に両
者に送られる大声援のなか、緊張感が伝わる
仕切りから立ち上がった両力士。互角の立会
いから強烈な右を押しつけ回り込んで左を伺
う佐賀ノ海。縦目になると更に前に攻め込ん
で押し出すように黒房下に寄り切って生駒山
を二敗に出さず落として決定戦に持ち込ん
だ。



佐賀海○(寄り切り)●生駒山

その三つ巴となった決定戦の最初の一歩で
再び生駒山と対戦し、立会いから本割の勢い
のまま右を押しつけ左から体を寄せると生駒
山を無抵抗のまま一気に寄り切って勝ち残り
と続いて出羽翼
との一番。互角
の立会いから熱
戦を期待された
が両者とも攻め
込めず互いに足
が流れ同体の判
定二度続き、三
度目の仕切り
直して立ち上が
ると十日目と同
じ様に立会いや
も、踏み込まれる
も、返す刀で胸



佐賀海○(押し倒し)●出羽翼

を合わせ出羽翼の体を起こすと右ののど輪を
逆転劇で初優勝を決めた。

この瞬間に各親方から祝福の言葉と共に握
手を求められた師
匠の錦風が溢れ
満面の笑みで結
た。先場所の小結
での7勝に続き今
場所も関脇で9勝
場上げ、いよいよ
大関獲りとなる来
場所。衰えを知ら
なぬベテラン力士
の土俵から



将軍様と喜びを分かち合う錦風親方

九日目までただ一人全勝を守りながら惜し
くも優勝を逃した生駒山。関取になってから
もさほど目立った成績ではなかったが、入幕
三場所目の今場所はこれまでの取り口とは打
って変わり右攻めから白星を重ね、左を許し
ても粘りを見せ優勝戦線を賑わせる活躍に周
圍を驚かせた。

師匠の九十九親方が関西に帰郷して久しい
が、それ以降は部屋に帰る事も無く稽古ど
ろか四股も踏まず本場所に挑んでいる。そんな
状況からこの変わり映えは紙相撲では稀に
起る進化の表れなのだろうか？中軸までは稀
に付が上がるのである。場所所は、その真価が問
われる試練の場所となるだろう。関西の地か
ら応援する九十九親方の姿が目につく。

もう一人優勝を逃し
た出羽翼は本来の實力
を発揮して、先場所の
関脇での大負けを帳消
しにする成績で千秋楽
まで優勝戦線を賑わせ
る活躍を見せた。嶺峰
で幕下デビュー以来、
幕下の十両でそれぞれ
二回の優勝を誇り新入
幕からの三場所は意外
にも負け越しが続いた
が、四場所目以降は着実に勝ち越しを続け三
役に上り詰めた。



出羽翼○(寄り切り)●支那虎

今場所は平幕に陥落したがこの活躍で来場
所は三役に返り咲く事だろう。今年から横綱
が居なくなつた勝間田部屋だが、この部屋頭
をはじめ幕内は勿論のこと十両以下も若手の

台頭が著しく、今場所の優勝に準ずる出羽翼
の活躍を機により一層活気付くだろう。

今場所も九日目には
全勝の生駒山を下し、
千秋楽に優勝の可能性
を持ち越した美空富士
に、十日目に春ノ翔に
敗れ、優勝戦線から脱
落した若乃嶋の両横綱
による千秋楽の一戦。
すでに二敗力士が3人
並び優勝決定戦が決ま
つたこの一番に勝って
優勝を狙う。



生駒山●(寄り切り)○美空富

かたや優勝の芽が無くなった若乃嶋は佐賀
ノ海の援護射撃を果たしたいところ。呼び出
しの声に続き両横綱が土俵に上がると今年最
後の取り組みとあって二人に送られる五分の
声援に沸く国技館。両者とも大事な一番に慎
重に慎重を期す仕切りが続き、立行司庄之助
の掛け声とともに立ち上がった。

互角の立会いから右
を押つけ正面による
美空富士、寄られなが
らも左足一本で応戦す
る若乃嶋。さらに胸を
合わせる前に攻め込む美
空富士の一瞬の隙を突
いて、土俵際で体を入
れ替えた若乃嶋が鮮や
かなうちやちやを決め
た。今年最後の一番を締め



若乃嶋○(打つ棄り)●美空富

この結果に三連覇の夢が断たれ悔しい思
い。美空富士、私が言うまでもないがそれ以上
に悔しい思いをしたのは若乃嶋に錦風親方だ
ろう。第一人者を破る事が出来るのならば、
なぜもう一番勝っておけなかったのか？勝負
の世界ではタラレバは禁句だが、今場所の若
乃嶋には正しくそれが当てはまり横綱に昇進
して以降の場所では最大級の優勝チャンス
を逃した結果となった。

最近では選出されなくなつたが私個人とし
ては今場所の「江戸川賞」を送りたい思いだ。
もう何度書いたのか分からないが、来場所こ
そは：と願わずにいられない。(香具山)

香具山さんの独り言

僭越ではありますが今年も全国の総括をしてみ
たいと思います。今年も全国の熱心な紙相撲フ
ァンの応援と協会運営陣の尽力のおかげで、
無事に三場所を取り進められた事に感謝と喜
びを感じております。

平成最後となった初場所から令和と変わ
つたふた場所も協会の第一人者として横綱美空
富士の絶対的な安定感と強さが際立った年だ
つたように思う。しかしながらその絶対的
王者ですら三連覇は果たせませんでした。

それに加え十両千代鈴の連勝が止まった事
も併せて、記録が途絶える度に思うのは、そ
んな簡単には記録は塗り替えられないものだ
と物語る65年の歴史の重みです。誰もが認
める実力者であっても簡単に白星を重ねられ
ない実力者伯仲の激戦期の昨今、まずまずの
安定感を見せる上位陣に各部屋から有望な新
鋭が次々と番付を上げて、益々群雄割拠に拍
車がかかり見る者を驚かせてくれていると
思います。

そんな群雄割拠のなか来年もまた選勝を
迎えたおじさん達を、子供以上に歓喜させ一喜
一憂に我を忘れる事が出来てしまふ程の熱戦
が繰り広げられる事を楽しみに今年を締め
たいと思います。来年もどうぞ日本紙相撲協
会にご支援を賜ります様よろしくお願ひ致しま
す。それでは全国の紙相撲ファンの皆様、良
い年末年始を過ごしてくださいませ！

人事往来

昭和の大横綱扇灘、一代年寄一扇灘親方
が本年末に定年を迎え、協会役員を退くこ
ととなった。同期で扇灘とともに紙相撲を
盛り立てた貴錦も定年退職を迎えた。
皆様、長年お疲れさまでした。

【定年退職】扇 灘(元横綱扇灘)

三ツ峰(元関脇貴錦)

網代木(元関脇高熱山)

大松戸(元小結小砲)

虹乃島(元前頭岩龍)